

4月の「春の嵐」により、笠原地区では雪やあられが降りました。山間部の茶畑では、じっくりと冬の間から育ってきた新芽が、この寒波により凍結して傷んでしまいました。茶畑には防霜ファンという霜よけの扇風機がついていて、気温が下がると自動的に風を送り出して霜を防ぐのですが、今回の寒さでは役に立たなかったところが多かったようです。2004年にも八女エリアに大きな被害が出たと記憶していますが、笠原地区では今年の方がひどかったかもしれません。カマボコ型の茶うねは、日当たりや気流の影響で片面だけが被害を受けることが多く、農家さんによっては茶うねの片面だけ摘んで、もう半分は遅れて出てくる次の新芽を待つ、というとても大変なお茶摘み作業をされているそうです。今年の新茶は心して味わいたいと思います。

今月のお米 石崎九十九さん 「つくしろまん」：南笠原地区鰯八



南笠原地区鰯八の一番奥「土取」で米づくりを行っています。昨年の米づくりは病害虫が少なく、通常よりも農薬散布を減らすことができました。お米の品種は「つくしろまん」です。冷めても美味しいのでオニギリに向いています。田植えや稲刈りのときは息子が手伝ってくれますが、田んぼの水管理は自分の仕事です。若い人をお願いしたい気持ちはありますが、イチゴで忙しいのと、山の田んぼの水管理はなかなか難しいので、頑張っています。最近、イチゴ収穫のピークが終わり少し落ち着きました。今度は茶摘みで忙しくなります。4月に収穫したイチゴで、うちの奥さんが今年のイチゴジャムを作りましたので、よかったらご注文ください。添加物なしの程よい甘さのジャムです。(笠原棚田米プロジェクト 石崎九十九)

◆事務局より

○平成 30 年度の笠原棚田米 4月末から種まきが始まりました。6月上旬に田植え、9月末から10月上旬に稲刈り、11月からは新米の発送を予定しています。笠原棚田米プロジェクトのリニューアルを予告していましたが、まだチラシができておらず、申し訳ありません。もうしばらくお待ちください。尚、6/23(土)には毎年恒例の笠原棚田米プロジェクトによる「田植え」を予定しており、地元の子供たちを招待したいと考えています。お時間あるサポーターさん、よろしければお手伝いよろしくをお願いします！

○次回のお届け 次回(5/2 発送)は宮園福夫さんの「ヒノヒカリ」をお届け予定です。

※精米歩合の変更や配達先変更をご希望の方は、発送の前月20日までにお知らせください。



こめづくり もりづくり ひとづくり
山村塾

特定非営利活動法人 山村塾

〒834-1222 福岡県八女市黒木町笠原 9836-1

TEL/FAX:0943-42-4300 E-mail: info@sansonjuku.com

美しい棚田を未来へ

山村塾 HP <http://sansonjuku.com>

【H29年度サポーター数】4月83名→5月83名/116.5俵(個人:81、企業/団体:2)

【守られている棚田面積】19,416㎡(116.5俵⇒194.2a 収量6俵/10aとして)

※農家がやる気を持って取り組む仕組みを作り、棚田の風景を次世代へ引き継ぐため、

「5年間買うぞ!」の口約束をしてくれるサポーターを募集しています!

※棚田米サポーター募集! <http://sansonjuku.com/activity/tanada>